

ノードの設置

この章では、ノードの設置方法について説明します。この章の内容は次のとおりです。

- ノードの開梱と点検(2-1 ページ)
- ノード設置の準備(2-2 ページ)
- ラックへのノードの設置(2-4 ページ)
- ノードの初期設定(2-8 ページ)



(注)

ノードの設置、操作、または保守を行う前に、『[Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco UCS C-Series Servers](#)』を参照して重要な安全情報を確認してください。



警告

安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。各警告の最後に記載されているステートメント番号を基に、装置に付属の安全についての警告を参照してください。

ステートメント 1071

ノードの開梱と点検



注意

内部ノードコンポーネントを取り扱うときは、静電気防止用ストラップを着用し、モジュールのフレームの端のみを持つようにしてください。



ヒント

ノードの輸送が必要となる場合に備えて、輸送用の箱は保管しておいてください。



(注)

シャーシは厳密に検査したうえで出荷されています。輸送中の破損や内容品の不足がある場合には、ただちにカスタマー サービス担当者に連絡してください。

-
- ステップ 1 段ボール箱からノードを取り出します。梱包材はすべて保管しておいてください。
- ステップ 2 カスタマー サービス担当者から提供された機器リストと梱包品の内容を照合します。すべての品目が揃っていることを確認してください。
- ステップ 3 破損の有無を調べ、内容品の間違いや破損がある場合には、カスタマー サービス担当者に連絡してください。次の情報を用意しておきます。
- 発送元の請求書番号(梱包明細を参照)
 - 破損している装置のモデルとシリアル番号
 - 破損状態の説明
 - 破損による設置への影響
-

ノード設置の準備

ここでは、ノードの設置準備について説明します。この項の内容は次のとおりです。

- [設置に関するガイドライン\(2-2 ページ\)](#)
- [ラックに関する要件\(2-3 ページ\)](#)
- [工具の要件\(2-3 ページ\)](#)
- [スライドレールの調整範囲およびケーブル マネジメント アームの寸法\(2-4 ページ\)](#)

設置に関するガイドライン



警告

ノードの過熱を防ぐため、最大推奨周囲温度の 40 °C (104 °F) を超えるエリアで操作しないでください。

ステートメント 1047



警告

いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐ手が届く状態にしておいてください。

ステートメント 1019



警告

この製品は、設置する建物に短絡(過電流)保護機構が備わっていることを前提に設計されています。この保護装置の定格が 250 V、15 A 以下であることを確認します。

ステートメント 1005



警告

装置は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

ステートメント 1074



注意

ノードを取り付ける際は、適切なエアフローを確保するために、レールキットを使用する必要があります。レールキットを使用せずに、ユニットを別のユニットの上に物理的に置く、つまり「積み重ねる」と、ノードの上部にある通気口がふさがれ、過熱したり、ファンの回転が速くなったり、電力消費が高くなったりする原因となる可能性があります。ノードをラックに取り付けるときは、これらのレールによりノード間で必要な最小の間隔が提供されるので、レールキットにノードをマウントすることを推奨します。レールキットを使用してユニットをマウントする場合は、ノード間の間隔を余分にとる必要はありません。

ノードを設置する際には、次のガイドラインに従ってください。

- ノードの周囲に、保守作業および十分な通気を行えるスペースがあることを確認します。このノードでのエアフローは、前面から背面に流れます。
- 空調が、[環境仕様 \(A-1 ページ\)](#)に記載された温度要件に適合していることを確認します。
- キャビネットまたはラックが、「[ラックに関する要件](#)」セクション(2-3 ページ)に記載された要件に適合していることを確認します。
- 設置場所の電源が、[電力仕様 \(A-2 ページ\)](#)に記載された電源要件に適合していることを確認します。使用可能な場合は、電源障害に備えて無停電電源装置(UPS)を使用してください。

ラックに関する要件

ここでは、標準的なオープンラックの要件について説明します。

次のタイプのラックを使用する必要があります。

- 標準的な 19 インチ (48.3 cm) 幅 4 支柱 EIA ラック (ANSI/EIA-310-D-1992 のセクション 1 に準拠した英国ユニバーサルピッチに適合するマウント支柱付き)。
- 付属のスライドレールを使用する場合、ラック支柱の穴は、0.38 インチ (9.6 mm) の正方形、0.28 インチ (7.1 mm) の丸形、#12-24 UNC、または #10-32 UNC になります。
- ノードあたりの縦方向の最小ラックスペースは、1 RU、つまり 1.75 インチ (44.45 mm) である必要があります。

工具の要件

シスコが販売するこのノード用のスライドレールの場合、設置に必要な工具はありません。

サポートされるスライドレールキット

このノードでは、次の 2 つのレールキットオプションがサポートされます。

- シスコ製品 UCSC-RAILB-M4=(ボールベアリングレールキット)。
- シスコ製品 UCSC-RAILF-M4=(フリクションレールキット)。

スライドレールの調整範囲およびケーブルマネジメントアームの寸法

このノードのスライドレールの調整範囲は 24 ～ 36 インチ (610 ～ 914 mm) です。

オプションのケーブルマネジメントアーム (CMA) を使用する場合、長さの要件がさらに追加されます。

- ノードの背面から CMA の背面までの距離は 5.4 インチ (137.4 mm) 追加されます。
- CMA を含むノードの全長は 35.2 インチ (894 mm) です。

ラックへのノードの設置

ここでは、次の項目について説明します。

- [スライドレールの取り付け \(2-4 ページ\)](#)
- [ケーブルマネジメントアーム \(省略可能\) の取り付け \(2-6 ページ\)](#)
- [ケーブルマネジメントアーム \(省略可能\) の取り付けを逆にする \(2-8 ページ\)](#)

スライドレールの取り付け

この項では、シスコが販売するラックキットを使用して、ノードをラックに取り付ける方法について説明します。



警告

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、ノードが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

この装置だけをラックにマウントする場合、ラックの一番下にマウントしてください。

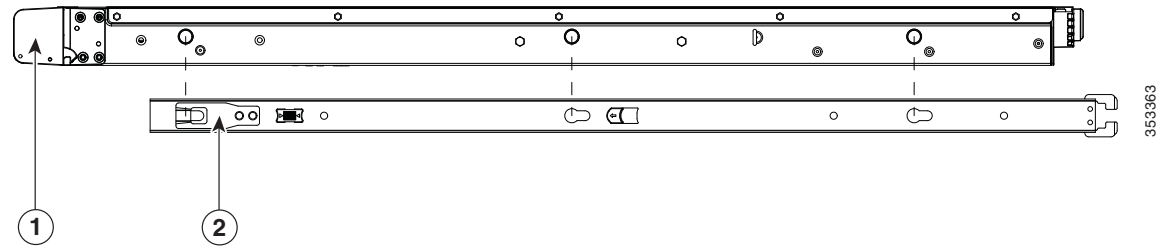
すでに別の装置がマウントされているラックにこの装置をマウントする場合、最も重い装置を一番下にし、重い順にラックの下から上へと設置するようにします。

ラックにスタビライザが付属している場合、スタビライザを取り付けてから、ラックにマウントまたはラックでの作業を行ってください。ステートメント 1006

ステップ 1 ノードの側面に内側レールを装着します。

- レール内の 3 つのキー付きスロットがノード側面の 3 個のペグの位置に合うように、内側レールをノードの一方の側の位置に合わせます (図 2-1 を参照)。
- キー付きスロットをペグに設定し、レールを前面に向けてスライドさせて、ペグの所定の位置にロックします。前面スロットには、前面ペグにロックするための金属製クリップがあります。
- 2 つ目の内側レールをノードの反対側に取り付けます。

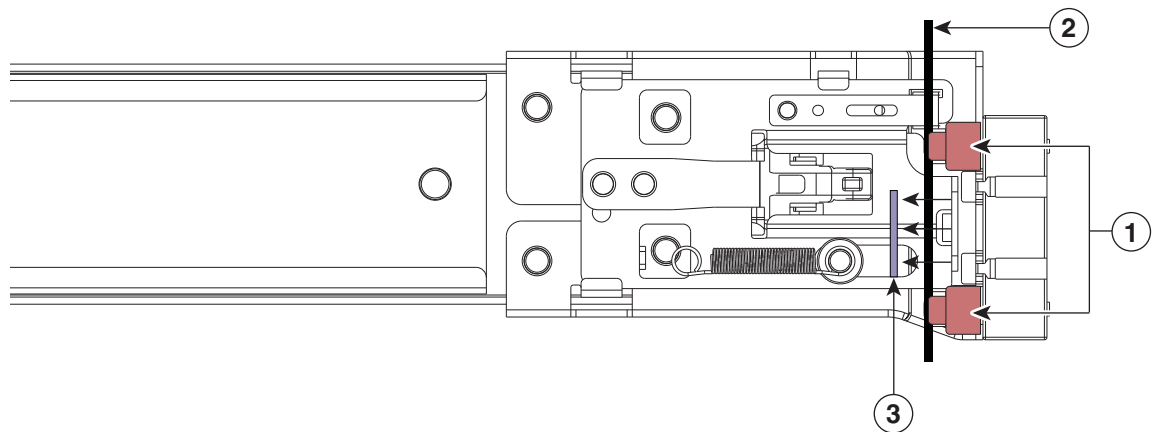
図 2-1 ノードの側面への内側レールの装着



1	ノード前面	2	内側レールのロックング リップ
---	-------	---	-----------------

ステップ 2 両方のスライド レール部品で前面の固定プレートを開きます。スライド レール部品の前端に、バネ仕掛けの固定プレートがあります。取り付けペグをラック支柱の穴に挿入する前に、この固定プレートが開いている必要があります(図 2-2 を参照)。
 部品の外側で、背面を向いている緑色の矢印ボタンを押して、固定プレートを開きます。

図 2-2 前面の固定部分、前端の内側



1	前面側の取り付けペグ	3	開いた位置に引き戻された固定プレート
2	ラック ポスト		

ステップ 3 外側のスライド レールをラックに取り付けます。
 a. 片側のスライド レール部品の前端を、使用する前面ラック支柱の穴の位置に合わせます。
 スライド レールの前端をラック支柱の外側に迂回させ、取り付けペグを外側前面からラック支柱の穴に入れます(図 2-2 を参照)。



(注) ラック支柱は、取り付けペグと開いた固定プレートの間にある必要があります。

b. 取り付けペグを、外側前面からラック支柱の穴に押し込みます。
 c. 「PUSH」のマークが付いた固定プレートのリリース ボタンを押します。ばね仕掛けの固定プレートが閉じて、ペグが所定の位置にロックされます。

- d. スライド レールの長さを調整したら、背面取り付けペグを対応する背面ラック支柱の穴に差し込みます。スライド レールは前面から背面に向かって水平である必要があります。
背面取り付けペグを、ラック支柱の内側から背面ラック支柱の穴に入れます。
- e. 2つ目のスライド レール部品を、ラックの反対側に取り付けます。2つのスライド レール部品が相互に同じ高さであり、水平になっていることを確認します。
- f. 所定の位置に収まって留まるまで、各部品の内側のスライド レールをラック前方へ引き出します。

ステップ 4 ノードをスライド レールに装着します。

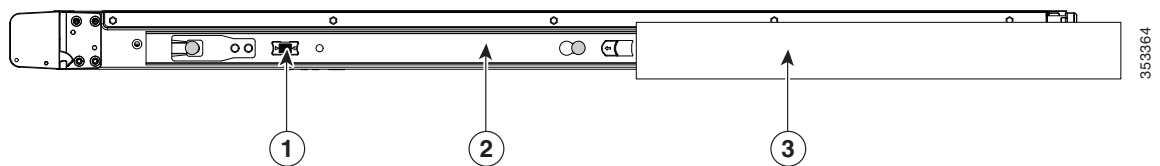


注意

このノードは、コンポーネントがフルに搭載されている場合、最大で 59 kg (67 ポンド) の重量になる場合があります。ノードを持ち上げるときは、2人以上で行うか、リフトを使用することを推奨します。この手順を1人で実行しようとする、怪我や機器の損傷を招くおそれがあります。

- a. ノードの側面に装着されている内側レールの背面を、ラック上の空のスライド レールの前端の位置に合わせます。
- b. 内部の停止位置で止まるまで、内側レールをラック上のスライド レールに押し込みます。
- c. 両方の内側レールでリリースクリップを背面に向けてスライドさせたら、前面のスラムラッチがラック支柱に収まるまで、ノードをラックに押し込みます。

図 2-3 内側レールのリリースクリップ



1	内側レールのリリースクリップ	3	ラック支柱に装着されている外側レール
2	ノードに装着され、外側レールに挿入されている内側レール		

ステップ 5 (任意) スライド レールに付属の 2本のネジを使用して、ノードをさらに確実にラックに固定します。ノードを取り付けたラックを移動する場合は、この手順を実行します。

ノードをスライド レールに完全に押し込んだ状態で、ノード前面のヒンジ付きスラムラッチのレバーを開き、レバーの下にある穴からネジを挿入します。ネジがラック支柱のレールの静止部分に挿入され、ノードが引き抜かれるのを防ぎます。反対のスラムラッチについても行ってください。

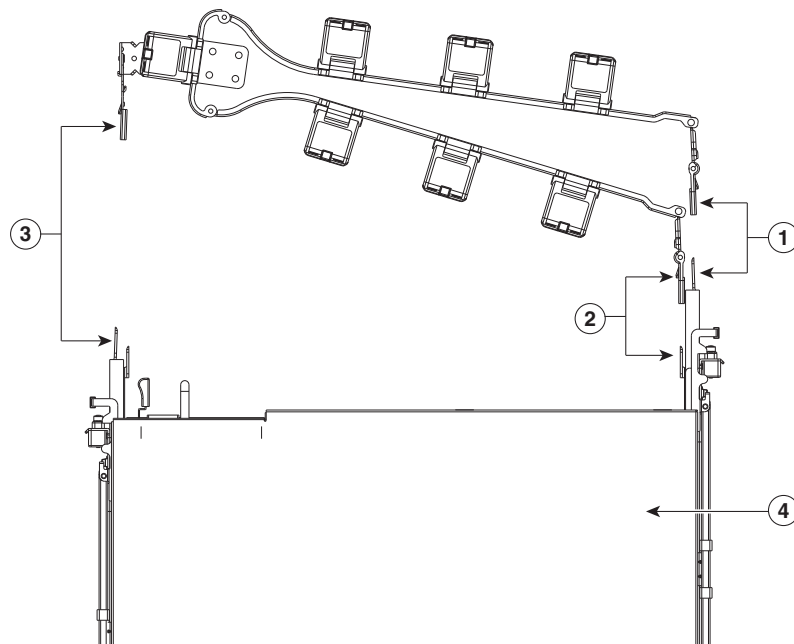
ケーブルマネジメントアーム(省略可能)の取り付け



(注) CMA は左右逆に取り付けることができます。CMA を逆に取り付けるには、取り付ける前にケーブルマネジメントアーム(省略可能)の取り付けを逆にする(2-8 ページ)を参照してください。

- ステップ 1** ノードをラックに完全に押し込んだ状態で、ノードから最も離れた CMA アームの CMA タブを、ラック支柱に装着された固定スライドレールの終端にスライドさせます(図 2-4 を参照)。カチッと音がしてロックされるまで、タブをレールの終端にスライドさせます。
- ステップ 2** ノードに最も近い CMA タブを、ノードに装着された内側レールの終端にスライドさせます(図 2-4 を参照)。カチッと音がしてロックされるまで、タブをレールの終端にスライドさせます。
- ステップ 3** ラックの幅に一致するまで、CMA アセンブリの反対側の終端にある幅調整スライダを引き出します(図 2-4 を参照)。
- ステップ 4** 幅調整スライダの終端にある CMA タブを、ラック支柱に装着された固定スライドレールの終端にスライドさせます(図 2-4 を参照)。カチッと音がしてロックされるまで、タブをレールの終端にスライドさせます。
- ステップ 5** 各プラスチック製ケーブルガイドの上部でヒンジ付きフラップを開き、必要に応じてケーブルガイドを通してケーブルを配線します。

図 2-4 スライドレールの背面へのケーブルマネジメントアームの装着

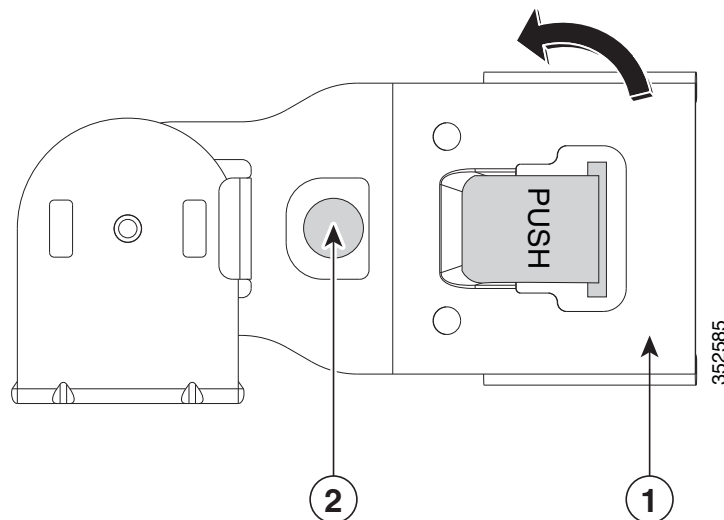


1	ノードから最も離れたアームの CMA タブと外側の固定スライドレールの終端	3	幅調整スライダの CMA タブと外側の固定スライドレールの終端
2	ノードに最も近いアームの CMA タブとノードに装着された内側のスライドレールの終端	4	ノード背面

ケーブルマネジメント アーム(省略可能)の取り付けを逆にする

- ステップ 1 CMA アセンブリ全体を 180 度回転させます。プラスチック製ケーブル ガイドは、上を向いたままにしておく必要があります。
- ステップ 2 ノードの背面を向くように、各 CMA アームの終端でタブを反転させます。
- ステップ 3 幅調整スライダの終端にあるタブを回転させます。タブの外側の金属ボタンを長押しし、ノードの背面を向くようにタブを 180 度回転させます。

図 2-5 CMA の反転



1	幅調整スライダの終端の CMA タブ	2	回転用金属ボタン
---	--------------------	---	----------

ノードの初期設定

次の資料を参照してください。

- ラックにノードを物理的に設置する手順については、[ラックへのノードの設置 \(2-4 ページ\)](#) を参照してください
- システムのパブリック インターコネクトの設定と、HX シリーズ HyperFlex ノードをファブリックに接続するためのインストール手順については、『[Cisco HyperFlex Systems Getting Started Guide](#)』を参照してください。
- HX220c ノードをコンピューティング専用ノードとして追加する手順については、『[Cisco HyperFlex Systems Getting Started Guide](#)』の「Adding a Compute Node」の項を参照してください。
- トラブルシューティングのみの目的でノードをスタンドアロン モードで起動する手順については、[スタンドアロン モードでのノードの設定 \(3-59 ページ\)](#) を参照してください。